

親支援：最初のステップ。

1. 子どもの発達の特徴を伝え 理解してもらおうこと

Q1.親に伝えて理解してもらおう 目的は何ですか？

子どもの発達の特徴とニーズ
養育・療育方法
支援情報
見通しの理解

子どもにとってより良い選択につながります

Q2.親に伝えて理解してもらおう 利点は何ですか？

- 子育ての不安を解消します**
- 子どもの行動の理解と虐待防止に役立ちます**
- 養育方法の助言により育児力をあげます**
- 様々な支援の場に繋ぐきっかけとなります**

Q3. 親たちは、伝える側に 何を望んでいますか？

「親の情緒面に配慮してほしい」

「早い時期に正確な情報がほしい」

「療育・親支援の情報がほしい」

(中田ら、1997)

Q4.伝える際に気をつけることは何ですか？

－6つの留意点－

- 面談の準備をします
- 親の気づきや認識を尋ねます
- 親のペースに合わせて伝えます
- 発達の特徴を説明します
- 親の気持ちに配慮します
- 方針のまとめとフォローをします

(Buckman, 1992, Baile et al., 2000)

1. 面談の準備をします

- **プライバシー**
- **他の家族の同席**
- **姿勢と態度**
- **時間の準備**

2. 親の気づきや認識を尋ねます

- 子どもの状態について親がこれまで得た情報や心境を尋ねます

→ 誤った情報や誤解の修正

→ 親の理解や認識, 心境を踏まえた説明

3. 親のペースに合わせて伝えます

- 親の希望の確認
- 親の心境への配慮

4. 発達の特徴を説明します

- 相手にわかる説明
- 正確な情報
- 相手の理解を適宜確認
- 前向きな見通し

5. 親の気持ちに配慮します

- 親の感情を認め共感
- 高い不安への適切な対応

6. 方針のまとめとフォローをします

- 面談の要点のまとめ**
- 疑問や質問への回答**
- 今後の見通しの説明**
- 支援情報の提供と必要な橋渡し**
- 次回の面談日時の設定**

親への支援

II. 子育てを支援する

Q1. 子育て支援には どのようなものがありますか？

様々なニーズに応じる支援があります

- (例)
- 子育て情報の提供
 - 一般むけの講座
 - 専門的講座
 - 支援グループ
 - 個別支援

Q2. 大変な子育てに どう助言したらよいですか？

まず、苦勞をねぎらいましょう

助言の例

- 1. 思い込んでいませんか？**
- 2. わが子の行動を理解しましょう**
- 3. 育て方を一緒に考えましょう**
- 4. 家族のニーズに気付きましょう**
- 5. 地域力を活用しましょう**

1. 思い込んでいませんか？

- 親の育て方が悪い？
- 育てにくい子は“悪い子”？
- 他の子にできることは“できて当然”？
- 教えなくてもできるはず？

2. わが子の行動を理解しましょう

他の子と違っている？

- ・ 得意な行動**
- ・ 苦手な行動**

3. 育て方を一緒に考えましょう

- ・得意な行動：

- 伸ばす工夫は何でしょう？

- ・苦手な行動：

- できるように工夫してあげましょう
- できたら褒めてあげましょう
- 失敗しても、できなくても “よい子”

4. 家族のニーズに気付きましょう

- お母さん一人で抱えていませんか？**
- 両親が理解し協力し合っていますか？**
- 子どもの兄弟姉妹のニーズは満たされていますか？**

5. 地域の力を活用しましょう

- 地域の支援や資源を活用しましょう**
- わが子について地域に理解してもらいましょう**